● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付け をおこなってください。

● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への 危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大 きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定 される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する 重要な内容ですので、必ず守ってください。

🄨 👺 告:人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。 **. 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が** 想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



○ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁

止)が描かれています。

ます。

■ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるもので す。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラ グをコンセントから抜いてください) が描かれています。



埋込禁止

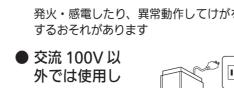
アースを

分解・修理・

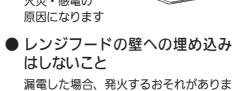
取付注意

取付注意

● 修理技術者以外の人は、絶対に 分解したり修理・改造をしない 発火・感電したり、異常動作してけがを







● アースを確実に取り付けること 故障や漏電のときに感電するおそれがあ ります アースの取り付けは販売店にご相談くだ

♠ 警告

● レンジフードと排気ダクト等は、可 燃物との間を 10cm 以上離すか、不 燃材料を使用して可燃物を覆うこと 取付注意 火災などの原因になります 詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてくだ

● 排気工事をされる場合は、建築基準法 (同施行令) および消防法などの関連 法規に従って法的有資格者が工事をお 取付注意 こなうこと

火災などの原因になります

● 配線工事は電気設備技術基準や内線 規程に従って法的有資格者が工事を おこなうこと 誤った配線工事は感電や火災の原因になりま

● 電源は専用コンセントおよびブレー カーを設けること 取付注意 火災・故障の原因になります

取付注意

● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または 金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト が貫通する場合、金属製ダクトとメタルラ 取付注意 ス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触

しないよう取り付けること 漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります ● レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス 網など)と接触しないよう取り付けること

取付注意 漏電した場合、発火するおそれがあります ● 自然排気型のストーブを使用するときは、 空気の取入口(給気口)により十分給気さ れる配慮をすること 取付注意

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす おそれがあります

/ 注意

● 浴室など湿気の多い場所 では絶対に使わないこと (浴室用換気扇をお使い 使用禁止 ください) 感電および故障の原因になり

ます

取付禁止

● 周囲温度が 40℃以上に なるところには取り付 けないこと

火災・故障の原因になりま

けがをするおそれがあります

に入れないこと

をするおそれがあります ● レンジフードの取り付けは、† 分強度のあるところを選んで確 実におこなうこと 落下によりけが

鋼板の切り口や角でけが

● 取り扱いの際は、必ず厚手の手

をするおそれが あります ● 部品の取り付けは確実におこな うこと ● 運転中は、指や物を絶対

袋をすること

手袋をする

落下によりけがをす 取付注意 るおそれがあります

● 作業は 2 人以上でおこなうこと レンジフードは約 39kg の重さがあります 取付注意

取り付け上のお願い

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する 法令、規定に従って法的有資格者がおこな う必要があります。 ・大工工事【設置のための下地工事等】

・配線工事【コンセントの設置、コンセ

ント・コネクター利用以外の配線接続

・管工事【ダクト配管およびレンジフー ドからのダクト接続等】 流通業者(販売店)を通して組立・設置す る場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・ 設置」を区別しておこなってください。

● ダクトの不燃処理について ・ダクトを 50mm 以上の不燃材料、また は 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定 品の不燃材料で被覆してください。 ・施工要領は、各メーカーの「標準施工

てください。 ● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内の ものをご使用ください。 調理機器はレンジフードの前面より手前 にはみ出して設置しないでください。排気

要領技術指導書」・「検査要領書」に従っ

効率が低下します。 ● 屋外壁面の排気出口に取り付けるベント キャップまたはパイプフードの通気抵抗 は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使 用ください。防虫網付きのものは目詰まり して排気性能が低下する場合があります ので使用しないでください。

● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは 極端に屈曲したダクトは排気効果をいち じるしく低下させたり、騒音が大きくなり ますので使用しないでください。

● ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を 設けてください(目安: 勾配 1/100~ 1/50 程度)。雨水の浸入や結露水の逆流 の原因になります。

● レンジフードは調理機器の 真上に取り付けてくださ い。なお、レンジフード取 付高さは、レンジフード の下端が調理機器の真上 80cm 以上になるようにし てください。

● レンジフード下部には、 湯沸器を絶対に取り付け ないでください。また、 横方向 50cm 以上離し ____ 50cm 以上 て取り付けてください。 湯沸器の真上は高熱にな るため故障の原因になり

80 ㎝以上

● 製品仕様を改造してのご使用は絶対にお やめください。

● 部屋の中央で調理される場合は油煙が捕 集しきれませんので、お台所の全体換気の ために他の換気扇と併用していただけれ ば、よりすぐれた換気ができます。

● 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm² 程度の空気取入口を設けてください。

● 寒い地域ではダクトが結露し、レンジフード 内に結露水が流れる場合がありますので、 断熱材を巻くなどの対応をしてください。 ● 同時給排モデルのレンジフードをお使い の場合でも、建物の気密性によって給気が 必要となる場合があります。その場合は別 途空気取入口を設けてください。

● 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶 剤を使用しないでください。 塗装面が変色したり、はがれたりすること があります。

● 風量おまかせ運転(風量自動切替)機能を正 しくお使いいただくために、別紙に記載の 方法で必ず環境設定をおこなってください。 ● レンジフードの排気ダクトは他の排気ダ

クトと併用しないでください。

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をし

発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります

改造禁止 ● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと 漏電した場合、発火するおそれがあります 埋込禁止

> ● 排気工事をされる場合は、建築基準法同施行令)および消防法 などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと 火災などの原因になります

> ● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以 上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと 火災などの原因になります

● レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触し ないよう取り付けること 漏電した場合、発火するおそれがあります

注意

● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります 手袋をする

ところを選んで確実におこなうこと 落下によりけがをするおそれがあります 取付注意

取り付け前の調査と準備

取付箇所の強度確認 製品を支える強さが必要です。 製品質量 約 39kg

→ 天井面への穴あけ(取付詳細図−1) 1) 天井面のレンジフードを取り付ける位置に間 □ 525mm × 奥行 300mm の開口をあけて

ください。 2) 開口部周辺を補強桟で補強してください。 ※補強桟は、野縁・野縁受け等に固定してく ださい。

↑ 吊りボルトの取り付け(取付詳細図ー2) レンジフードの吊りボルト位置に合わせて、吊り ボルトを垂らしてください。 ※吊りボルトは、M10 ~ 12 を用いてください。

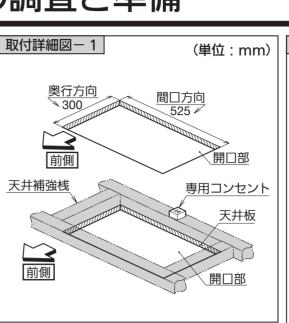
※吊りボルトは製品を支える十分な強さを確保し てください。必要となる強度は、建物の条件、 耐震クラスなどにより異なります。 排気ダクトの取り出し(取付詳細図- 2)

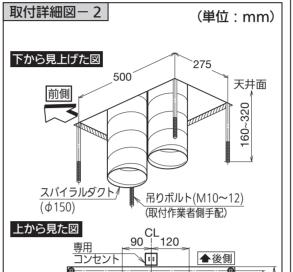
φ 150 のスパイラルダクトを、取付詳細図-2 の位置に取り出してください。

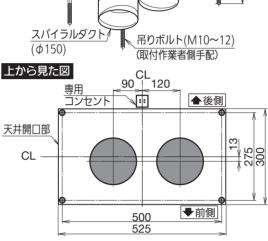
本製品の標準取付寸法は、調理機器上面からレン ジフードの下端まで 80cm 以上です。

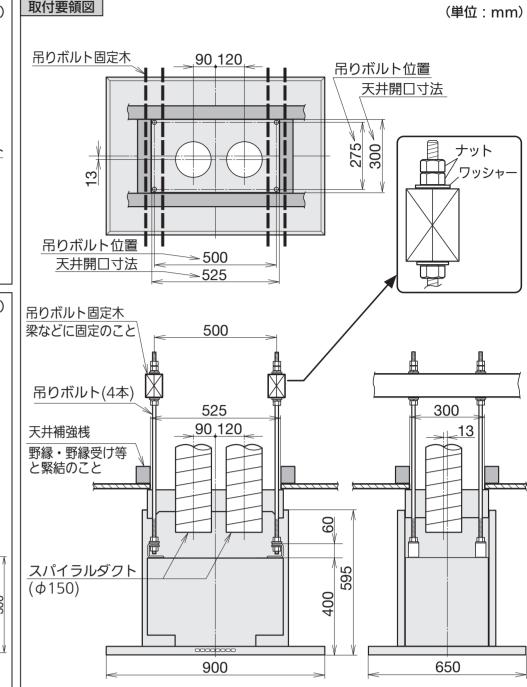
※火災予防条例では、グリスフィルターの下端が 調理機器の真上80cm以上必要となっています。

・ 必ずアース工事 (D 種設置工事) をしてください。 レンジフードが誤作動することがあります。

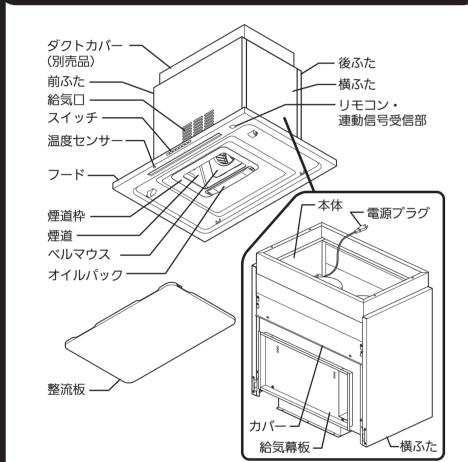






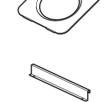


各部のなまえ



煙道およびフードの取り付けに 使います。





フード固定金具 1個

ベルマウス 1個



煙道 1個 本体内部に取り付けます。

ソフトテープ 2本 給気□・排気□とダクトとの

トラスねじ (M4×10) 13本

フードの取り付けに使います。

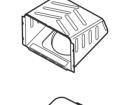


(煙道にテープで固定されています。) 本体内部に取り付けます。

フードと本体の固定に使います。

お願い

付属品



すきまをふさぐのに使います。

天井面からの吊りボルトの突き出し長さ

(A) およびダクトの突き出し長さ(B) は、

製品総高さ(範囲:600~760mm) によ

り異なります。製品寸法図を参考にして、

次式により算出してください。

吊りボルトの突き出し長さ(A)

=「製品総高さ」— 440

ダクトの突き出し長さ(B)

=「製品総高さ」 - 490

トラスねじ(M5×12) 4本

アース線: 機外長1m (243) 天吊りボルト位置 ダクトカバー取付位置 天吊りボルト位置 ダクトカバー取付位置 /電源プラグ:機外長1m 別売品ダクトカバー φ148 φ148

取り付けかた

343

調理機器設置高さと天井高さの関係により、このレンジ フードが設置できない場合があります。右表の製品取付高 さと天井高さから適切なダクトカバーを選択してください。 * 注1 排気方向は上方のみ可能です。 注2 ダクトカバーは型名によって寸法が異なります (右図参照)。 ※右表の設置寸法は一例です。記載以外の設置寸法の場合

は、製品寸法図を参考にしてダクトカバーを選定・調整 してください。ダクトカバー型名の「*」には色記号が

NOL THE DA	製品総高さ:A	取付寸法(例)	
タントカハー品金		製品取付高さ:B	天井高さ:(
CDCJ-115*	600~680	1600	2200~228
		1650	2250~233
		1700	2300~238
		1750	2350~243
		1800	2400~248
CDCJ-195*	680~760	1600	2280~236
		1650	2330~241
		1700	2380~246
		1750	2430~251
		1800	2480~256

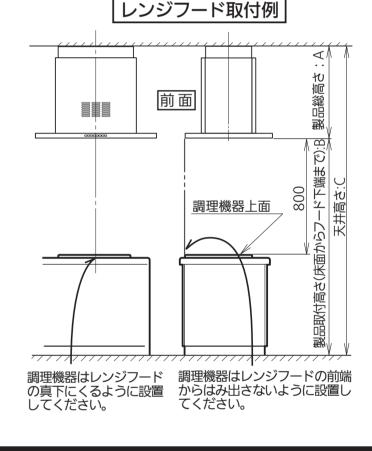


図4-1

図4-2

(単位:mm)

(単位:mm)

調理機器上面

1. 付属品の確認

注意

● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります 手袋をする

● 作業は 2 人以上でおこなうこと 製品は約 39kg の重さがあります 取扱注意 付属品を確認します。

梱包箱から付属品を取り出し、上項の付属品一覧 により不足がないか確認してください。 お願い ・ 発泡ポリエチレンシート・固定テープ・保護

用クッション材・保護用フィルム(青色・透明) はキズ、破損防止のため、「3. フード・本体の 準備」まではずさないでください。 床で作業する場合、本体および床にキズを付

けないため、必ずシートを敷いた上で作業を おこなってください。 取付作業の際はキズ・破損のないように十分 注意してください。

2. 取付準備

金属板とが電気的に接触しないように取り付けること

の関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

/ 注意

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります

不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください

● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと

(浴室用換気扇をお使いください)

感電および故障の原因になります

天井面へのダクト穴の開口を依頼して

また、天井開口部近くの補強桟または

野縁等に専用コンセントを設置します。

ください。(図2-1)

火災などの原因になります

火災などの原因になります

● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に

● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法など

● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、

図2-1

吊りボルト(M10~12)

(取付作業者側手配)/

金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、

保護用クッション材 保護用フィルム 保護用フィルムー ※機種により 有無があります。 ルポリエチレン

3. フード・本体の準備

お願い

・はずしたねじは取り付けの際に使用しますの

でなくさないでください。 ・はずした部品は変形させないよう、平らな場 所に置いてください。また、はずした部品で 床などにキズをつけないようご注意ください。 ・金具の変形防止のため、(図3-1)のように 必ず天パットの上に仕切パットを載せ、その

上にフードを置いて作業してください。 ■ フードの準備

整流板をはずします。 ※発泡ポリエチレンシート・固定テープ・保

護用クッション材・保護用フィルム(青色・ 透明)をはずしてください。(図1-1参照) ※保護用フィルム(青色)は、取付作業完 了後に再び使用します。 1) 整流板の左右にあるストッパーを押して

き、後ろを持ち上げて整流板吊り金具か

らはずします。(図3-2) ※必ず左右同時にはずしてください。 金具の変形の原因になります。

↑ オイルパックをはずします。(図3-3)

はずします。(図 3 - 1)

1) 固定テープをはがします。 2) オイルパックの両端を持って手前に引 き、ツメからはずします。

所のねじをゆるめます(ね じははずれません)。 2) ゆるめたねじ側をゆっくり と持ち上げ、反対側にある 2 ヶ所のツメをはずします。

1) 煙道枠を固定している2ヶ

※フードを天板が上面になるように置き、 2ヶ所の固定テープをはがします。 1) 天板前をななめに持ち上げ、ツメ4ヶ 所をはずします。

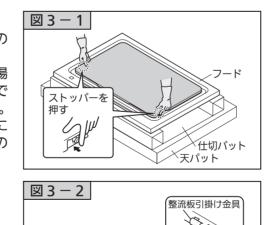
ださい。

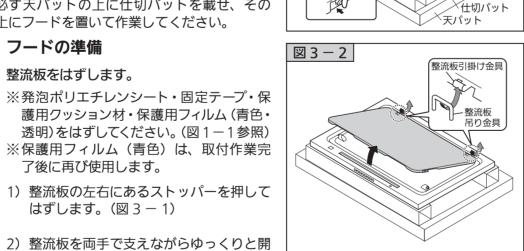
2) 天板後を固定しているトラスねじ (M4 × 10) 2 本をはずし、ななめに 持ち上げてツメ5ヶ所をはずします。 ※天板を変形させないようご注意く ださい。 ※取りはずしたねじは「4. 本体の取

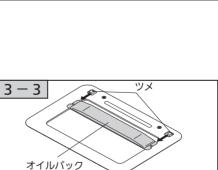
※天板を変形させないようご注意く

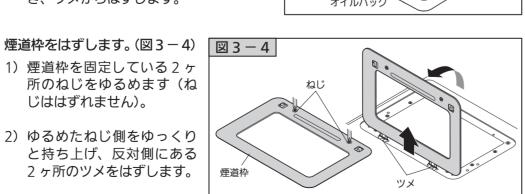
お願い 天板に貼ってあるキズ防止テープは取り付 けが完了するまではがさないでください。

なくさないでください。

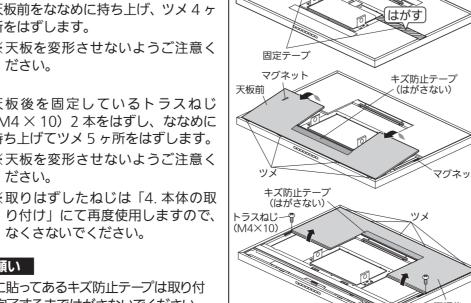








はがす

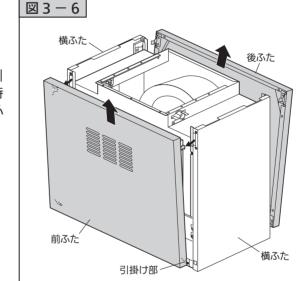


たからはずします。

■ 本体の準備

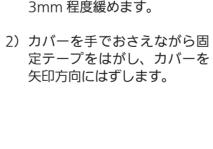
(図3-6) 前ふた・後ふたの上端を手前に引 いてはずし、前ふた・後ふたを持 ち上げて、下端の引掛け部を横ふ

前ふた・後ふたをはずします。



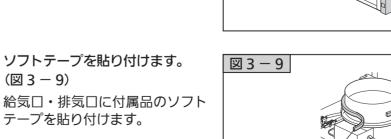
カバーをはずします。(図3-7) 図3-7 ※両側ともはずしかたは同じで

3mm 程度緩めます。



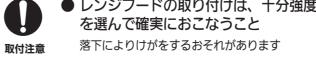
看 横ふたをはずします。(図3−8) ※両側ともはずしかたは同じで

> 横ふたを固定しているトラスねじ (M4×10) 12 本をはずし、横 ふたをはずします。 ※取りはずしたねじは「7. 横ふた・ 前ふた・後ふた・カバーの取り 付け」にて再度使用しますので、



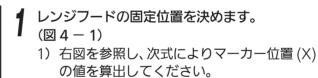
4. 本体の取り付け

注意



● 作業は2人以上でおこなうこと レンジフードは約 39kg の重さがあります

落下によりけがをするおそれがあります



までの高さ」+800+460) 例:天井高さが 2350mm、床から調理機 器上面までの高さが 850mm、調理 機器上面からレンジフードまでの高さ が 800mm の場合

X=「天井高さ」一(「床から調理機器上面

X = 2350 - (850 + 800 + 460)天井からのマーカー位置(X)は 240mm となります。

2) 吊りボルトにマジックペンなどで、天井か

25) 4本でダクトカバーを天井面に固定しま

らXの値の位置にマーカーをつけます。 **∮** ダクトカバー(別売品)を取り付けます。 (図4-2) ダクトカバーに付属の座付ねじ(Φ5.1×

す。 お願い 切り欠きのある面をレンジフードの前後方向 にしてください。向きを間違えると本体との

固定ができなくなります。

(図4-3)

で差し込みます。

3 吊りボルトにナットを取り付けます。

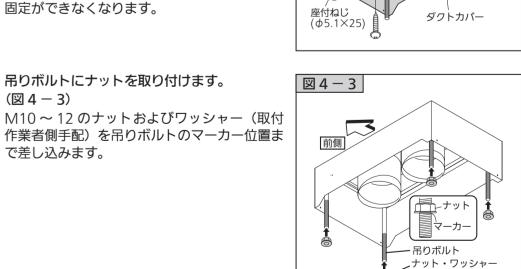


図4-4

(取付作業者側手配)

爲 コンセン|

▲ 本体を吊りボルトに固定します。 (図4-4)

> 1) 取り付けたダクトカバーに本体両脇 のガイドを差し込みながら本体を持 ち上げ、4ヶ所の吊り金具に吊りボ ルトを差し込み、吊り金具を挟み込 むように吊りボルト下側から M10 ~12のワッシャーおよびナット(取 付作業者側手配)でしっかりと締め 付けます。

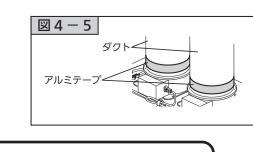
お願い 給気用ダクトに給気口を、排気用ダ クトに排気□を差し込みながら本体 を取り付けてください。

2)「5. 電気配線」を一読してから、電

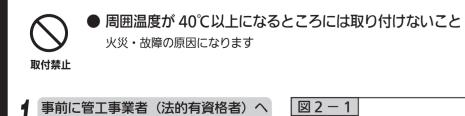
源プラグを天井裏などのコンセント に差し込みます。 ※必ず分電盤のブレーカーを「切」 にしてからおこなってください。 ※アース(D種接地工事)を取り付

5 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ) をおこないます。(図 4 - 5)

けます。



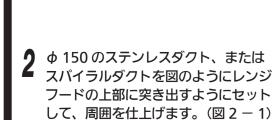
取り付けかたは裏面に続きます。



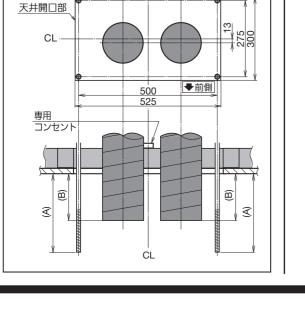
使用禁止

取付注意

取付注意



↑ M10 ~ 12 の吊りボルト(取付作業者) 側手配)を4本、天井内の梁などの頑健 な部分に固定します。固定ピッチは前後 275mm、左右 500mm です。(図 2 - 1)



(単位:mm)

専用コンセント

警告

詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください

取付注意 ● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること 火災・故障の原因になります 取付注意

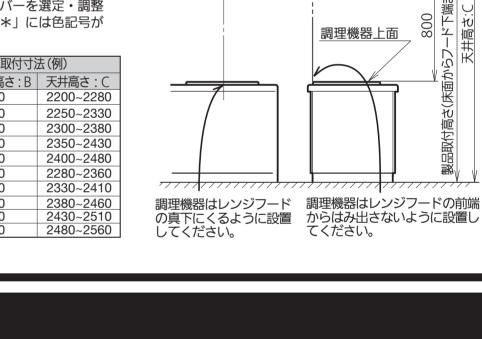
● 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと 火災・故障の原因になります 取付禁止

● レンジフードの取り付けは、十分強度のある

☆ 電源コンセント・ブレーカー 電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置 | 天井開口部 してください。(交流・単相 100V) コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続器 15A 125V をご使用ください。 お願い

製品寸法図 ご注意

	入ります。			
	ダクトカバー品番	製品総高さ:A	取付寸法(例)	
			製品取付高さ:B	天井高さ:C
	CDCJ-115*	600~680	1600	2200~2280
			1650	2250~2330
			1700	2300~2380
			1750	2350~2430
			1800	2400~2480
	CDCJ-195*	680~760	1600	2280~2360
			1650	2330~2410
			1700	2380~2460
			1750	2430~2510



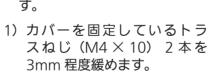
吊りボルトの突き 出し長さ(A) 出し長さ(B) 160 (+ 10) まで 110 (± 10) 240 (+ 10) まで 190 (± 10)

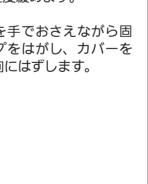
320 (+ 10) まで 270 (± 10)

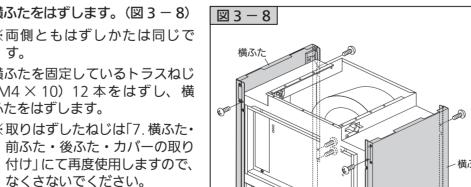
※「製品総高さ」寸法は、「ダクトカバー(別

さ」によって異なります。

売品)」、「製品取付高さ」および「天井高

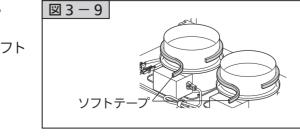






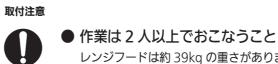
はがす

ソフトテープを貼り付けます。 (図 3 - 9)給気口・排気口に付属品のソフト



● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところ

部品の取り付けは確実におこなうこと



取付注意



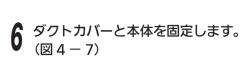
トラスねじ (M4×10)

トラスねじ

取り付けかた(つづき)

■ 給気□・排気□設置面の漏風確認のお願い (図4-6)

給気□・排気□とダクトを接続する際に、無理 にダクトにレンジフードの排気口を接続しよう とすると、設置面(製品天面等)が変形し、風 漏れが発生してしまう場合があります。 風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強 運転)をおこなってください。漏風する場合は、給 気口・排気口と設置面の周りをアルミテープ等(現 場調達品)で漏風防止処置をおこなってください。



付属品のトラスねじ (M4×10) 4本で左右各2ヶ所をガイドの長 穴に固定します。

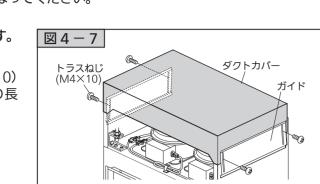


図4-8

ストッパー

3 トラスねじ (M4×10)

図4-9

図4-10

図4-6

設置面

7 フードを取り付けます。 1) フード後側の引掛け桟を本体後 側に引っ掛け、フードを左に寄

せます。(図4-81) お願い

配線を挟まないようご注意く ださい。 2) フード前側を持ち上げ、ストッ

パーが本体のラッチに「カチッ」

とロックされるまで持ち上げま

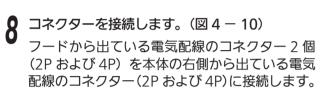
す。(図4-82)

お願い ストッパーとラッチが確実に 引っ掛かったことを確認して ください。ロックが不完全な まま作業を続けると、フード部 が落下するおそれがあります。 3) 付属品のトラスねじ (M4×

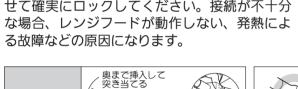
10)3本、(M5×12)4本で

フード下側から右図の各位置を 固定します。(図4-83) 4) 本体後側に付属品のフード固定金具を引っ

掛け、トラスねじ (M4×10) 2 本で固定 します。(図4-9)



お願い コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わ せて確実にロックしてください。接続が不十分

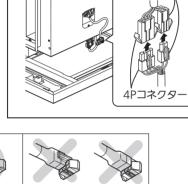








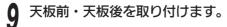




トラスねじ

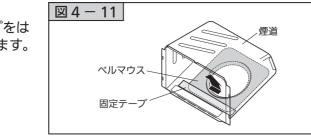
2Pコネクター

取り付ける



「3. フード・本体の準備」で取りはずしたときと逆の手順(天板後を先に取り付ける) で取り付けます。

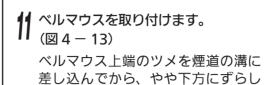
▼ 1) 付属品の煙道内の固定テープをは がし、ベルマウスをはずします。 (図4-11)



,この位置でねじ止め

2) 煙道をフード開口部の前側(ス 図4-12) イッチ側)に沿わせるように挿入 したあと、ファン側に押し込みま す。(図4-12) ※煙道はキズをつけないよう、 ゆっくりと差し入れてくださ

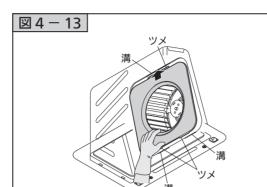
3) トラスねじ(M4×10)4本でフー ドに固定します。(図 4 - 12)



て下端のツメを溝に入れます。

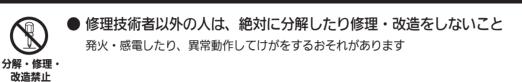
17 煙道枠、オイルパック、整流板を ┗ 取り付けます。 「3. フード・本体の準備」で取りはず

したときと逆の手順で取り付けます。

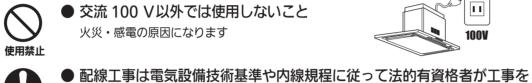


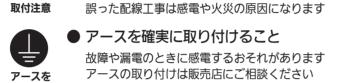
5. 電気配線

漁警告









■「4.本体の取り付け」手順4の2)で以下の作業をおこないます。

1)アース(D種接地工事)を取ります。

2) 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

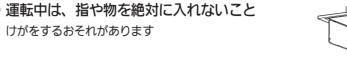
お願い ・ 電源は専用のコンセント (2極差込接続器 15A、125V) およびブレーカーを設けてく

・「6. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。

6. 試運転

注意

● 運転中は、指や物を絶対に入れないこと



■ 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。 スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。

■ 必ず試運転をしてください。

接触禁止

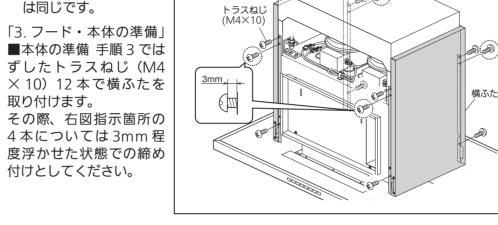
- 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異音や振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。 ■ 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料とな
- りますので十分確認してください。 ■ 風量おまかせ運転(風量自動切替)機能を正しくお使いいただくために、別紙に記 載の方法で必ず環境設定をおこなってください。

7. 横ふた・前ふた・後ふた・カバーの取り付け

- 横ふた2枚・カバー2枚はそれぞれ同一品です。
- 横ふたを先に取り付けてください。
- 給気穴のある前ふたは必ず給気幕板のある側に取り付けてください。 ※ 後ふたと間違えると給気ができなくなります。
- 取り付けかたは「3.フード・本体の準備」の取りはずしかたを参考にしてください。

横ふたを取り付けます。 (図7-1)) ※両側とも取り付けかた

「3. フード・本体の準備」 ■本体の準備 手順3では ずしたトラスねじ (M4 × 10) 12 本で横ふたを 取り付けます。 その際、右図指示箇所の 4本については3mm程 度浮かせた状態での締め

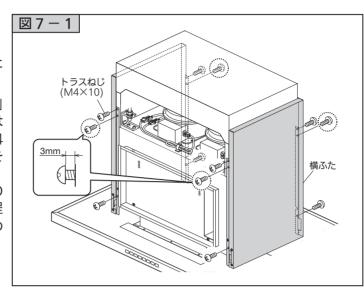


カバーを取り付けます。

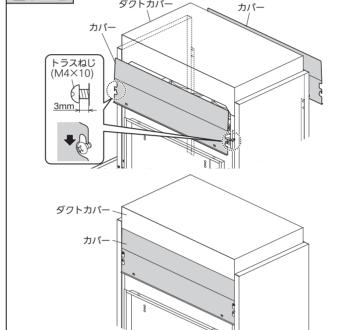
▲ (図7-2) カバーは右図のように 3mm 程度浮かせた状態 のトラスねじ (M4× 10) 2本に引っ掛けたの ち、そのねじを固定して ください。 ※両側とも取り付けかた

は同じです。 カバーの取付状態は右下 図を参照してください。

↑ 前ふた・後ふたを取り付 **り** けます。



ダクトカバー



・ 取り付ける際は、フード天板面にキズをつけないように注意して取り付けてください。 ・ 横ふた・前ふた・後ふた・カバーの取り付けが終わったら、フード天板に貼ってある キズ防止テープをはがしてください(図3-5参照)。

※ 取付作業完了後は製品保護のため、はずした保護用フィルム(青色)をもとの状態に 取り付けてください。

8. お客様への説明

■ 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

■ 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

[製造元] 富士工業株式会社

本社・営業部 〒 252-0206 相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 番 9 号 TEL 042(768)3754 (営業部)